令和６年４月吉日

肺がん CT 検診実施施設
代表者各位

特定非営利活動法人
肺がん CT 検診認定機構
代表理事　小林　健

肺がん CT 検診施設認定資格の積極的な取得のお願い（ご案内）

拝啓　時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

さて、先般改定された肺がん検診ガイドライン 2022（肺癌学会）におきましては、重喫煙者に対する低線量胸部 CT を用いた肺がん検診（低線量肺がん CT 検診）は、死亡率減少効果を示す証拠があることから実施を勧められるとし、グレード A に格上げされました。

これに伴い、日本においても低線量肺がん CT 検診は、より身近な肺がん検診として一般に認知され、従前の胸部 X 線検査から徐々に移行していくことが予想されます。

しかしながら、重喫煙者を対象とする低線量肺がん CT 検診の実施にあたっても、十分な精度管理の体制下で実施されている場合に限定されること、また非／軽喫煙者に対する実施では十分なインフォームドコンセントを得る必要があることなどが、但し書きとして記されています。

これらの背景の下、特定非営利法人 肺がん CT 検診認定機構（当機構）におきましては、検診の手法・精度の標準化を図り、実効性のある低線量肺がん CT 検診を広めることを目的とする、施設認定制度を 2018 年 4 月より発足し、本年 4 月末現在、59 施設を認定するに至っています。しかしながら、全く十分な認定数とは言えません。

主たる参加要件は、認定医師（非常勤も含む）・認定技師が各々1 名以上在籍していることです。当機構では認定医師は 1,715 人、認定技師は 1,757 人を認定し、すでに 150 を超える施設でこの条件を満たしており、申請費用はご負担いただきますが、認定施設の称号を取得することが可能です。認定施設の称号は、当機構の公式ホームページにて認定医師・認定技師リストともに公開され、全国優良施設としての証明となります。また、貴施設のスタッフの皆様にはベンチマーク施設である誇りと自信にもつながるでしょう。

ぜひ、受診者にとって安心・安全を保障するために、認定施設の取得に積極的に応募いただくようお願いを申し上げます。

なお、応募される場合は、当機構ホームページの「施設認定申請申込フォーム」よりお申込みください。

最後になりましたが、貴施設の益々のご発展を心から祈念いたしております。

敬具